

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章の構成を意識しながら、自分の考えを分かりやすく書く力が身に付いている。
- 文章を読んで理解した内容をもとに、自分の考えを深める力が育っている。
- 複数の情報を整理し、それらの関係を分かりやすく表現する力に課題が見られる。

【数 学】

- 図形の性質や資料の特徴を読み取る力が身に付いている。
- 箱ひげ図などの資料を正しく読み取ることができている。
- 文字の種類や指数に着目して同類項を見分け、文字式を整理することに課題が見られる。

【英 語】

- 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができている。
- 短い英文を読み、内容の大まかな意味を捉えることができている。
- 会話の場面や状況に応じて、必要な情報を判断しながら聞き取る力に課題が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 「自分にはよいところがある」「人が困っている時に進んで助ける」など、自己有用感や規範意識が高く、互いの考えを尊重しながら学び合う風土が育まれている。
- 学んだことを次の学習や実生活に生かそうとする意識が高い。
- 自ら学び方を選択・工夫することや、自分の考えを整理して分かりやすく伝えることに課題が見られる。
- スマートフォンやPC、タブレット、ゲーム機、テレビなどでSNS・動画等の利用時間が全国平均より長く、家庭学習時間の確保に課題が見られる。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ NT（西中タイム）等における「読む・書く」活動の充実と基礎・基本の定着

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 対話を通して多様な考えに触れ、自分の考えを深める授業づくりの推進
- ・ 複数の情報を比較・関連付けて整理し、根拠を明確にして表現する学習活動の充実
- ・ 授業内容と家庭学習を関連付けた反復・定着による基礎・基本の確実な定着
- ・ 目的や場面、状況を意識し、必要な情報を判断する「聞く・話す」活動の充実

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 生徒一人一人の良さや前向きな行動を認め、励ます取組の継続
- ・ 安心して発言し、互いの意見を尊重できる学級づくり
- ・ 学びを次の学習や生活につなげる振り返り活動の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 問い・選択・協働・振り返りを位置付け、自ら学び方を選択・調整する学習活動の充実
- ・ 考えの共有・比較・再構築を通して、自分の考えを整理・表現するためのICTの効果的な活用
- ・ 総合的な学習の時間で培った課題設定・情報収集・整理分析・表現等の探究的な学びの各教科への展開
- ・ 家庭との連携によるSNS・動画等の利用時間の見直しと、家庭学習時間の確保・習慣化